



アミール・ツアルファティ
[イスラエルとイランとの戦争 特別アップデート]

2026年6月14日

<https://youtu.be/useGGeazxNQ>



イスラエルからシャローム、こんばんは。アミール・ツアルファティです。イスラエル最南端の都市から、ニュース速報をライブでお届けしています。母を訪ねています。母はもうすぐ80歳で、少し体調が悪いので、アメリカ、ニュージーランド、オーストラリアへの長期ツアーに出発する前に、ちょっと立ち寄ること

とにしました。

さて、おそらく皆さんも耳にしたと思いますが、取引…誰もあれを取引とは呼ばないと思います。それについては後ほど詳しく説明しますが、その前に、イスラエルはイランからの新たなミサイル攻撃に備えています。念のために言っておきますが、我々はイランに対して何もしていません。ヒズボラが昼夜を問わず我々を攻撃しているため、我々はレバノンの標的を攻撃したのです。そしてイランは、それに報復したいのです。ちょうど1週間前と同じです。では、話を進める前に、まずお祈りをしましょう。

主よ、感謝します。あなたが完全にコントロールしておられます。あなたは後のことを初めから告げ、まだなされていないことを昔から告げ、あなたのご計画は必ず成就し、あなたの望むことをすべて成し遂げてくださいます。ですから、私たちは、何にも勝る御手の中にいることを覚え、そのことに安らぎを見出します。主よ、イエスの御名によって感謝します。アーメン

さて、もう私はニュースを伝えないと思っている皆さん、私はこれからもニュースをお届けします。ただ、これまでとは異なる形で行います。さて、ニュースに入る前に、私が Telegram での 24 時間ニュース配信から撤退するという、非常に難しい決断を下した理由を説明します。皆さんの多くがご存

じないかも知れませんが、私は、Telegram チャンネル、そして、以前は今も使っているアプリを通して、アップデートのほとんどを行っていました。目的は、イスラエルから、ニュースを、フィルターを通さず、偏向なく伝えるだけでなく、信者の視点からニュースを伝えることが重要だと考えたからです。ただ、問題は、戦争が始まって以来、イスラエルからのニュースが、1日に1回や2回ではなく、10分に1回になったことです。そして、理解していただきたいのは、私はこれに非常に真剣に取り組む、時には1分間に10件、1時間に1回というペースで投稿していました。そして私はできる限り、素早くかつ正確であることを目指していました。それから、重要なのは、私の経歴、私が話す言語、私が持っている人脈、それにより、多くの情報源が得られているだけでなく、私のTelegramにどれを投稿すべきか、そしてどれが安っぽいプロパガンダで避けるべきかを、自分で判断できるのです。私がTelegramに投稿する内容のほとんどは、投稿すべきか、すべきでないかを、じっくりと考慮して決めています。イスラエルのニュース事情は非常に難しく、ニュース報道は、ただ情報を照合するだけではなく、情報を確認しなければなりません。真っ先に報道しないよう、確認が必要です。なぜなら、一般の人々の目にさらしてはならない情報を、無責任に伝えないためです。ここでニュースを伝えるには、様々な要素、多くの構成要素があるのです。

さて、最近になって、私はよく眠れていないことに気づきました。それから、私は、物事を感情的に受け止めすぎてしまう傾向があって、意図せずして、私の感情の多くが、私の投稿に現れていることに気づきました。そして、その私のメッセージを何十万人、あるいは何百万人もの視聴者が見ているのです。また、かつては非常に重要で良いものだったものが、私個人にとって、非常に有害なものになっていて、そのため、私自身の発言が、今度は他者にとって有害なものになっていることにも気づきました。私はそれを非常に重く受け止め、自問しました。「神は、私にこれを求めておられるのか。それとも、もっと崇高で、もっと高い目標のために、もっと大きな使命が与えられているのではないか？」そして気づいたのです。私が本当に望んでいるのは、人々を神のみことばに導き、人々に神のみことばを教え、神のみことばを通してイスラエルを擁護することであって、ニュースは、これまでも、現在も決してメインではなく、常に、他のすべてを裏付けるためのものです。しかし、私はニュースにますます多くの時間、エネルギー、感情などを注ぎ込むようになって、他のすべてのことに費やす時間が、どんどん減っていました。ご存知の通り、私は頻繁に旅をし、執筆や講演を頻繁に行なっています。するべきことが本当にたくさんあるのですが、皆さんが目にしていくニュースの

99%は、実際に私が書き、私が個人的に投稿したものです。さて、皆さんの多くが「アミール、なぜ他の人にやらせないの?」と言っていますが、それはうまく行きません。私は少なくとも 1 年間、その重荷を私から引き受けてくれる人を探し続けてきました。しかし、そんなことを望む人は誰もいないのです。あまりにも大変すぎて、誰もやりたがらないのです。そのうえ、正しい情報源の正しい情報を、適切な方法で、適切なタイミングで提供する能力のない人に、それを任せることはできません。これは遊びではありません。何でもかんでも配信することはできません。そこで私は、それを正しく行うか、止めてしまうかのどちらかだと気づいたのです。ですから今後は、ニュース報道は、このような速報や「中東とその先」、そして、ニュースレターといったものに切り替えます。また、皆さんは同意しないかもしれませんが、もし、私が感情的にダメージを受けると、意図せずとも、他の人にも同じような影響を与えることを自覚しています。しかし、これがニュースに関わる者の生活です。私は情熱をもってことを行うので、物事を真剣に受け止めてしまいます。特に、ニュースに関しては感情の切り替えが難しいのです。それに加えて、私は、この国における我々の活動を強く支持していますし、周囲で行われている不正や偽善が大嫌いです。だから、実際にその痛みやストレスを受け、それが、容易に他の人々に伝わり、影響を与える可能性も私は分かっています。それは自覚しています。そして、まさにそれが私の問題なのです。まさにこれが私の問題です。それで、どうしたかというところ…私は決断しました。おそらく、それを改善するためには…（ちょっと待ってください。ええ…”ナチス”がコメントしているのを見つけました。よし。YouTube でユーザーをブロック。はい。）とにかく、これが、毎日一日中ニュースを報道することから撤退するのが最善だと判断した理由です。

皆さん、理解してください。私は、寝るときも、携帯電話を肌身離さず持っていて、文字通り、スマホを持って寝ていたのです。トイレに行くにも、シャワーの時も携帯を持って行きました。飛行機の中でもいつも電源を入れたままで、携帯電話を手の届かない場所に置いておくことは、ほとんどありませんでした。その理由は、常にたくさんのことが起こっていたからです。分かりますか? いずれにせよ、私が聖書のみことばを分かち合い、教え、その点と点を結びつけて説明することに、より大きな情熱を持っていても、皆さんはきっと許してくださると思います。私は、ここで起きていることの報道を決してやめませんが、自分の健康を保ち、他の皆にとっても良い形でできる方法で行います。それから、もっと頻繁に顔を出すようになると思います。とはいえ、これで事情をお分かりいただけたいと思います。何か大きな出来事があれば、もちろん Telegram でお伝えします。

では、重要な話題に移りましょう。ご存知の通り、イランは長年にわたり、レバノンを自国の体制に組み込もうと試みてきました。そして我々は、アメリカ大統領が賢明で、イランにこのように伝えることを期待していました。「あなた方は理解しなければならない。我々は、あなた方の行動のことで、あなた方と話合っているのだ。他の者が他の者に対して行なっていることを、あなた方がとやかく言う権利はない。」残念ながら、イランは米国政権に圧力をかけ、イランとレバノンの結びつきを強要することに成功しました。これが非常に奇妙なのです。アメリカは、イスラエルとレバノンの間の和平を実現しようとしていて、レバノン政府は、イランの影響力の排除を望んでいます。それが今、イランとのこの一連の合意において、そのつながりが合意の一部となっているのです。そのためイラン側は、「イスラエルがベイルートを攻撃するなら、我々イランはイスラエルを攻撃する」と言っています。いや、失礼ながら…ええ、それが先週の日曜日に起こりました。ご存知の通り、先週の日曜日に、彼らはミサイルとドローンでイスラエルの町々を攻撃しました。イスラエルは、ベイルートのダヒヤ地区を攻撃し、するとイランは、4度、ミサイルで集中砲弾を行い、私は、息子と一緒にシェルターに駆け込んでいました。それが、先週の日曜日に起こり、その後、日曜から月曜にかけて、夜、イスラエルは報復としてイランを攻撃、その後、翌朝に再び砲撃がありました。それから1週間後、またしてもデジャヴュが繰り返されました。そこで、皆さんは自問しなければなりません。「なぜ、アメリカとイランの間の、あの恐ろしい合意の数分前または数時間前に、イランはヒズボラに、イスラエル北部に向けてドローンやロケット弾をさらに発射するよう促しているのか？それにより、イスラエルによるベイルート攻撃につながり、その後、彼らが我々を攻撃し、そして我々が彼らを攻撃すると分かっているのに。なぜ、彼らはそんなことをするのか？」それは、確実にアメリカがイスラエルに対してより強い圧力をかけ、イスラエルとアメリカの間に楔を打ち込むことを、彼らが望んでいるからです。

しかし、第二に、そしてここからが本当に、本当に、本当に、本当に、本当に重要なことです。よく聞いてください。私の情報源によると、イランにイスラエルを攻撃させないために、アメリカは…ええ、つまり、アメリカは、イランに対し、さらにお金を渡すからイスラエルを攻撃するな、と提案しました。そして私が今読んだところによると、イランはこう言いました。「我々はトランプ大統領の提案を拒否した。」つまり、資金凍結を解除する代わりに、イランはイスラエルを攻撃しない、と

いう提案を否定、「我々は攻撃する。」まさにこれが、中東での交渉のやり方です。座って話し合うのではなく、行動するのです。イランは、自分たちが行動を起こさなければ、イスラエルが勝利したと見なされることを知っています。彼らは、合意など何とも思っていません。彼らにとって大事なことは、自分たちはイスラエルに勝利を許さないことを、世界に認めさせ、自分たちが弱腰であるとか、ヒズボラを見捨てたかのように見なされないことです。つまり、この取引の真の目的は、レバノンの人質に取り続けるための資金を得ることです。ちなみに、レバノン人の大半は我々を支持しています。

では、取引内容に移りましょう。いいですか、私はアメリカ大統領を尊敬しています。ところで、トランプ大統領、お誕生日おめでとうございます。今日は 80 歳のお誕生日ですね。お誕生日おめでとうございます。しかし、あなたが交渉を選択し、革命防衛隊の要求に屈したという事実を、私は尊重しません。あなたは、ひとつ理解しなければなりません。私はずっと前から言ってきました。Telegram では、怒っているように聞こえたかもしれません。だから、カメラ越しにはもう少し穏やかに聞こえることを願います。イランは、濃縮ウランを決して手放しません。彼らは、決してそれを国外に移しません。彼らは、濃縮計画を止めることも、ヒズボラのような代理勢力への支援も、決して止めません。彼らが、イスラエルにヒズボラへの攻撃をやめるよう求める根本的な理由は、ヒズボラが彼らの代理勢力だからです。だから、誰にも騙されてはいけません。アメリカとイランのいかなる合意も、もし合意が成立するならば、降伏したのはイランの方ではありません。私がそう言う理由は、イランのイデオロギーを知っているからです。私はイランのイデオロギー、彼らの考え方、そして彼らが体裁を気にすることを知っています。彼らは、核開発計画を放棄し、ウランをユダヤ主義者やアメリカ人に手渡した、と誰かに言われたり、あるいは、攻撃用のミサイルやウラン濃縮計画をすべて解体する屈辱を味わうくらいなら、自分たちが滅びてでも、全員を滅ぼす方がマシだと考えます。絶対にそれはさせません。彼らが核兵器を持たないことに同意したと言う人がいたら、その人が嘘をついています。彼らがウラン濃縮を行わないことに同意した、と言う人はみな、嘘をついています。彼らがお金を受け取らないことに同意したと言う人は、嘘をついています。これは明確にしなければなりません。すべては金と権力のため、そして彼らは、取引を知っています。大統領自身が、2020 年 1 月 3 日にこう言ったのです。「イランは戦争に勝ったことがないが、交渉では負けたことがない。」なのになぜ、勝利が確実に分かっている戦争を止めて、交渉に移行するのですか？しかも、彼らが負

けていたところで、あなたは停止し、そして、まさに、彼らが確実に勝利する場所に、あなたは今います。

聞いてください。どんな戦略か知りませんが、しかし我々の問題は、アメリカがイランに対して行っていることではなく、それが私たちに与えている影響です。もしアメリカが私に「ベイルートを攻撃するな。ドローンがイスラエル人を殺さなければ、問題ない。」と言っているなら、言っておきませんが、イスラエルの多くの民間社会は、ロケット弾やドローンによる攻撃への恐怖の中で日々を過ごしているのです。我々に、大虐殺が起きるまで待てと言うのですか？ちなみに、撃墜されたヘリコプターのパイロット 2 人は無事でした。彼らは死亡していません。なのに、なぜアメリカは報復したのか？もし誰かが死んだ場合のみ報復すれば良い、というのであれば、なぜアメリカは報復していて、イスラエルにはそれが許されない... 見てください。イスラエルは現在、境界線を引き、将来に向けた交戦規則を定めています。そして、はっきり言っておきますが、アメリカの目には良く映りません。なぜなら、それは、“世紀に一度”の素晴らしい交渉を破壊しているためです…。彼がそれをどう表現するのかは分かりませんが、そんなことは起こりません。だから、あなたが平和を望み、段ボールに描かれたアヤトラか何かと合意するなら、それでも構いません。お好きにどうぞ。しかし、我々は傍観せず、自衛のために必要なことは何でもします。そして、危険が迫っていると判断すれば、我々はそれに対処します。そうなれば、多分今日締結される、あなたの計画を台無しにすることも知っています。しかし、私たちはそのゲームには参加しません。いいですね？

ということで、ほら、私は、今後どうなるか、正確に知っています。私は聖書預言を学ぶ身ですから、知っているのです。そして、イランには依然として残忍な指導者層が存在し、近いうちに我々に敵対してくることを知っています。私はそれを知っています。そして、トルコやロシア、イスラエルと領土紛争のないこれらの国々が、いずれ我々に敵対してくることも、私は知っています。面白いことに、エゼキエル戦争では、私たちの周りの領土を持つ国々は…めちゃくちゃです。

ということで、要するに、これが現状です。イスラエルは一線を画しており、アメリカとイスラエルの間には間もなく、本当に間もなく亀裂が生じ、そして両国は、どんどん疎遠になっていくでしょう。それは仕方ありません。それは必ず起こるのです。それから、信者の皆さん、皆さんは、悲し

む必要はありません。聖書のどこに、アメリカがイスラエルを永遠に支持するという記述がありますか？それはありません。私たちは、いつかアメリカが、もはや私たちの味方ではなくなる時が来ることを、ずっと前から知っていました。エゼキエルの預言にある戦争が起こった時、イスラエルは孤立無援となることを我々は知っています。もちろん、神が私たちのために戦ってくださいます。だから、これらのことが起こっても、私は驚きません。ええ、悲しいですよ。そして、私は悲しんでもいいと思います。悪いことを見ると悲しくなる。悪が勝利するのを見ると、悲しくなる。悪人が罰を免れるのを見ると、悲しくなります。大国が仕事を最後までやり遂げる方法すら知らず、他の者が仕事を終わらせるのを認めないのを見ると、悲しくなります。あと少しで勝てそうだったのに、それが打ち碎かれると、悲しいです。悲しいですよ。さて、それは避けられないことなのか？そうです。エゼキエル戦争が始まると、誰も幸せにはなりません。しかし、それが起こることは分かっています。反キリストは、世界にとって良いニュースではありません。しかし、彼は必ず興り、誰もそれを止めることはできません。大患難が必ず起こることを、私たちは知っています。止めることはできません。しかし、私たちはここにいる限り、悪を憎み、嫌悪し、苛立ちを感じ、そういう緊張の中で生きています。そして同時に、主が私たちを支え、力を与えてくださるよう、ひたすら祈り続けなければなりません。そして、こうした欺瞞や策略の真っ只中で、彼らはあなたに嘘をついています。政治家は皆、日夜、皆さんに嘘をつき続けます。しかし、こうした状況の中でも、人々が主を見いだせるよう、私たちは祈るのです。まさに、そのために私は、限られたエネルギーの使い方を決めなければならないなら、これらすべてにエネルギーを、浪費するのではなく、メッセージの準備、講演、執筆に注ぎたいと思ったのです。そして、悪いニュースだけでなく、世界に良いニュースを伝えることに。

さて、多くの人から「ニュースはどこで見られますか？」と聞かれます。ニュースは様々な場所で見つけることができますが、私は速報が必要な時はいつでもオンラインで情報を提供するつもりです。ノートパソコンですから、とても簡単です。見た目が立派でなくて、照明も完璧ではなくても、誰も気にしません。ニュースをお伝えします。毎週、「中東とその先」をお届けします。ぜひニュースレターにご登録ください。ちなみに、Telegram は、今後も、皆さんに様々な情報をお届けするための素晴らしいプラットフォームとして続けていきます。あそこは、皆さんとコミュニケーションを取るための最良の方法です。

ということで、私たちの首相や指導者たちが、強く、毅然とした態度を保ち続けるよう祈りましょう。アメリカの指導者層が、根底から揺さぶられるような何かが起こり、彼らが文字通り火遊びをしていることを理解するよう、祈りましょう。彼らは、敵の懐にいだかれています。犬と一緒に寝ると、ノミだらけで目覚める。言っておきますが、これは良くありません。そして、イラン革命防衛隊は、覚書のいかなる条項にも従うことはありません。念のため、ご存知ない方のために説明すれば、彼らが、アメリカの言うことと正反対のことを言い続ける理由は、アメリカの要求を実行するのを拒んでいるためです。誰が署名しているのか、何に署名しているのか知りませんが、これは全て馬鹿げています。そして、一つ言えるのは、私たちは、身を起こし、頭を上げなければなりません。私たちの贖いが近づいているのです。今は悪に満ちた時代だからこそ、私たちは時間を有効に活用しなければなりません。

そして、私たちは覚えておかなければなりません。今週土曜日、私たちの教会では、ミカ書の 6 章を学びました。ミカは、本当にイスラエルに対する裁きの言葉を差し控えることをしませんでした。しかしミカは、あらゆるさばき、あらゆることを言ったにも関わらず、非常に興味深いことに、彼は基本的に次のように言ったのです。 **ミカ書 6 章 6-8 節、** **“何をもって、私は主の前に進み行き、いと高き神の前にひれ伏そうか。全焼のささげ物、一歳の子牛をもって御前に進み行くべきだろうか。主は幾千の雄羊、幾万の油を喜ばれるだろうか。私の背きのために、私の長子を、私のたましいの罪のために、胎の実を献げるべきだろうか。主はあなたに告げられた。人よ、何が良いことなのか、主があなたに何を求めておられるのかを。それは、ただ公正を行い、誠実を愛し、へりくだって、あなたの神とともに歩むことではないか。”** 神が私たちに望んでおられることは三つ。それは、公正を行うこと、誠実を愛すること、そしてへりくだって主と共に歩むことです。私は、名声は求めません。私は何も求めません。ただ、公正を行い、誠実を愛し、主と共にへりくださって歩みたいです。そして、私が本当に望むのは、人々が神を知ることです。それだけです。それが私たちの望みです。

ですから、もしあなたが自分の時間を 100% 自由に使えるとすれば、明らかに、配分を選ばなければなりません。明らかに私は、自分に許されている以上にニュースに費やしてしまいました。すべきことだったとは思いませんが、自分でこれは良くないと気づくまで、費やしてしまいました。そして、

それが良くなかったため、結果も良くありませんでした。そのため、意図せずして、周りに害をばらまく結果になりました。

ということで、以上です。いいですか？私はどこにも行きません。しかし、やり方を変えます。皆さんがそれを理解してくれることを願います。イスラエルは、イランから再び砲撃を受ける可能性があります。我々は報復しないわけにはいきません。ある国が別の国から、破壊力の強い大型弾道ミサイルで攻撃された場合、世界中の誰も、「報復するな」と要求することはできません。全く道理がとおりません。ですから、もし彼らがミサイルを発射するなら、イスラエルは反撃します。もし、彼らがミサイル発射を考えるなら、我々は何を攻撃するか、事前に伝えていれば良かったのと思います。いいですか、ヒズボラと我々は戦っているのです。それは構いません。彼らが攻撃し、我々が反撃する。彼らが戦いを望むなら、我々は彼らの土地を奪い、そこで戦います。そして、もし排除できる標的を見つけたら、我々はそれを実行する。イランは、この件とは全く関係ありません。レバノン大統領が、イランに対してそう述べました。我々も、イランに対してそう告げています。私は、アメリカもイランに対してそう言うべきだったと思います。アメリカは、この覚書にレバノンを含めるべきではありませんでした。これは大きな間違いであり、それにより、我々とアメリカとの間に、常に溝を生み出すことは分かっています。もし彼らが我々を攻撃し、我々が反撃し、その後、イランが我々を攻撃してきた場合、我々是对応せざるを得ません。だから、私に攻撃してくる者に対して反撃するな、などと私に言うことはできません。レバノンであれ、イランであれ、それはできません。

さて、皆さん、聞いてください、安全に過ごしてください。今後も最新情報をお知らせします。繰り返しますが、24 時間 365 日対応ではありませんが、信じてください、必要なことはすべてお知らせします。ありがとうございます。神の祝福がありますように。シャローム。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル



ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>
